◆今年度の作業部会内容

- ・在宅医療・介護連携推進事業についての共有
- ・みよし市民病院と地域包括支援センターとの連携体制について(※1)
- ・医療機関と地域包括支援センターとの連携におけるデータ収集及び分析について(※2)
- -事例検討 等
- ※1みよし市民病院と地域包括支援センターとの連携体制について

地域包括支援センターと市民病院とがスムーズに連携していけるように、3包括と市民病院との連携の動きを整理した。(資料2)

※2 医療機関と地域包括支援センターとの連携におけるデータ収集及び分析について 地域包括支援センターと医療機関との連携について、平成29年4月から12月までの集計を病院別、月別で集計し、作業部会で考察を まとめた。(資料3)

全体の約4分の3を市民病院が占めている



市民病院と地域包括支援センターとの連携体制の確立がみよし市全体の医介連携の充実にもつながるのでは

察

考

クリニックとの連携が少ない



地域に密着したクリニックとの連携をすすめていく必要が ある

地区によって連携先等に特徴がみられる 例:きたよし地区は他地区にくらべ、愛知国際病 院や豊田厚生病院との連携が多い。



各地区の特性にあった連携体制についても今後検討が 必要

◆次年度の取組(案)抜粋

- ・クリニックとの連携について
- ・市内の医介連携の現状についての調査
- ・豊田みよしケアネットの利用について
- ・医療機関等への地域包括支援センターのPRについて
- ・市民への啓発について
- ケース検討等